

下地調整・補修材 (0.5～1.0 mm)  
JIS A 6916 C-1 表示認証製品

# Uモル

## 【施工要領書】

平成22年1月9日



二瀬窯業株式会社

**用 途**

適応下地 コンクリート、PC板、ALCパネル、モルタル面 等  
 不陸調整 塗厚 0.5～1.0 mmの下地調整及び補修材

**施工手順****1. 下地の確認**

- (1) 下地面の突起物、レイタンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
- (2) 極端な不陸・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分等は予めポリマーセメントモルタルにて補修を行ってください。  
 ※補修した際には、24時間以上養生を行って下さい。
- (3) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理して下さい。

**2. 吸水調整**

- (1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3の3倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、Uモルの施工に移って下さい。目安としては4時間以上です。  
 ※下地の吸水が大きい場合はユニレックス3の3倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス3の3倍希釈液を塗布して下さい。

**【希釈配合】**

3倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	2L
ユニレックス3	270m <sup>2</sup> /缶		(18L/缶)	

**3. 材料の混練**

- (1) Uモル 1袋 (20kg) に清水約7.0Lを加えてハンドミキサー等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。

調合…Uモル	20kg	+	清水	約7.0L
Uモル	約16.0m <sup>2</sup>		(塗厚1mm時)	

#### **4. 塗り付け**

- (1) 施工面に対してコテ圧を十分にかけてしごき塗りを行って下さい。
- (2) しごき塗りした後、追っかけにて所定の厚みまで塗り付けて下さい。

#### **5. 仕上げ**

- (1) 仕上げ施工に応じて、金ゴテ等で仕上げてください。

#### **6. 養生**

- (1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または、通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- (2) 夏場施工の際には、Uモルの塗り付け翌日以降に散水養生を行って下さい。
- (3) 塗り付け後の養生期間は夏季7日以上、冬季14日以上とし、その後、次工程に移って下さい。

#### **注意事項**

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
3. Uモルの保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
4. Uモルには、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
5. 混練した材料は40分以内に使用して下さい。